平成22年度第3回日本科学教育学会研究会（南関東支部主催）プログラム

［テーマ ］ 地域と連携した科学教育実践と研究
［主　催］ 日本科学教育学会，日本科学教育学会南関東支部
［後　援］ 千葉県教育委員会，船橋市教育委員会，習志野市教育委員会，八千代市教育委員会

［全体日程］

9:40 － 10:00	受付　東邦大学習志野キャンパス　理学部Ｖ号館3階
10:00 － 11:20	研究発表（午前の部）
11:20 － 11:30	休憩
11:30 － 12:30	研究発表（午前の部）
12:30 － 13:30	昼休憩・支部懇談会
13:30 － 14:50	研究発表（午後の部）
14:50 － 15:00	休憩
15:00 － 16:45	課題研究発表
	閉会

		座長：坪田 幸政（桜美林大学）
Ａ 01	10:00 － 10:20	宮沢賢治『楢の木大学士の野宿』を用いた地球科学的教材開発
		○渡部 千尋・山崎 良雄（千葉大学教育学部）
Ａ 02	10:20 － 10:40	地域教材として活用するための房総南端館山地域の地形・地質学的特徴
		○山崎 良雄（千葉大学教育学部）
Ａ 03	10:40 － 11:00	地域の地層観察学習を主体とした教育実践 ―理科教員養成課程・教科に関する「地学」関連科目における実践―
		○高橋 典嗣・小口 太朗・山崎 良雄（千葉大学教育学部）
Ａ 04	11:00 － 11:20	館山市赤山地下壕を地域地質教材として意識させた授業開発
		○小口 太朗・高橋 典嗣・山崎 良雄（千葉大学教育学部）

		座長：福井 智紀（麻布大学）
Ｂ 01	10:00 － 10:20	地域と連携した科学教育実践と研究 「みんなで目久尻川をきれいにしよう」
		○須田 良子（神奈川県高座郡寒川町立旭小学校）
Ｂ 02	10:20 － 10:40	地域連携を基盤とする教育的催事の実践例
		○田村 健治（公立大学法人　首都大学東京　東京都立産業技術高等専門学校　ものづくり工学科　高専品川キャンパス　化学研究室）
Ｂ 03	10:40 － 11:00	調理科学実習を活用した親子向け講座「北区食育体験教室」
		○佐藤典子・千葉和義（お茶の水女子大学サイエンス＆エデュケーションセンター）
Ｂ 04	11:00 － 11:20	東京都日野市における環境学習サポートグループ「ひの どんぐりクラブ」の活動
		○中西 史・本地 由佳・ひのどんぐりクラブ（東京学芸大学理科教育分野）
	11:20 － 11:30	休憩
		座長：鶴岡 義彦（千葉大学）
Ａ 05	11:30 － 11:50	主体的に活動し，探究心を高める生物教材の研究
		○横堀 肇之（船橋市立八木が谷中学校）
Ａ 06	11:50 － 12:10	実感を伴った理解を図るための学習プログラムの開発
		○小島　実（佐倉市立上志津小学校）
Ａ 07	12:10 － 12:30	イオンに関する科学的概念を観察，実験を通して身につけさせる指導
		○野田　新三（市原市立ちはら台南中学校）

CST現職教員候補発表

			座長：畑中 敏伸（東邦大学）
	B 05	11:30 － 11:50	ソーラーオーブンを利用したエネルギー教育～体験講座のための教材開発～ ○坪田 幸政・中村 公哉・片谷 教孝（桜美林大学）
	B 06	11:50 － 12:10	生活科と低学年理科との連続性に関する一考察　一物質の粒子性の初期指導を事例にして一 ○片平 克弘（筑波大学大学院人間総合科学研究科）
	B 07		※発表取り止め

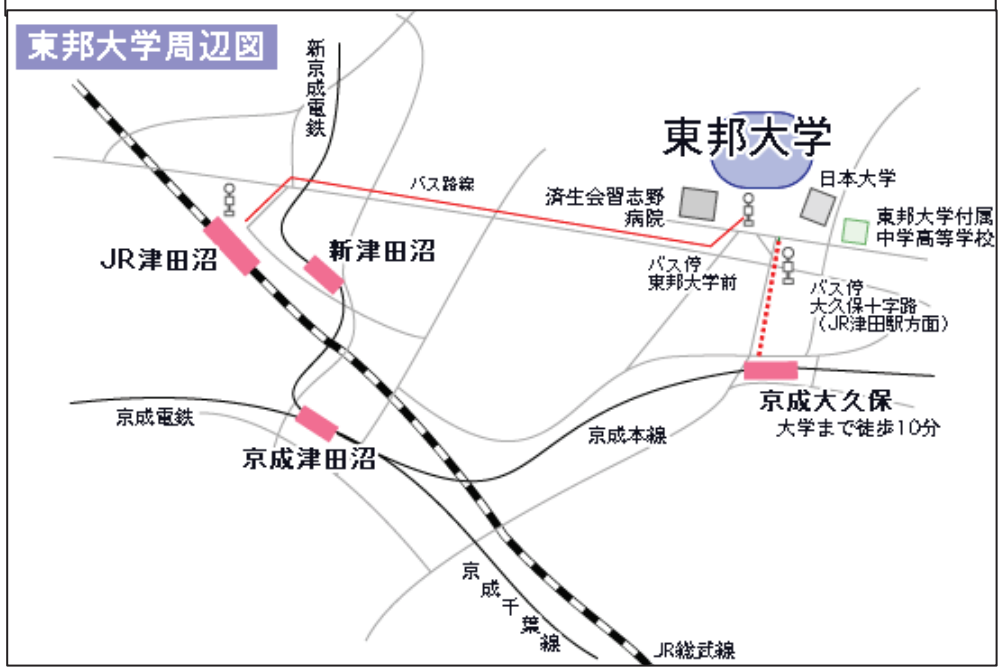
		12:30 － 13:30	昼休憩・支部懇談会
			座長：山崎 良雄（千葉大学）
CST現職教員候補発表	A 08	13:30 － 13:50	地層の堆積に関する見方や考え方を広げる地学指導ー教科書に掲載されている地層に着目してー ○近江　正（勝浦市立勝浦中学校）
	A 09	13:50 － 14:10	高等学校の理科課題研究におけるガイドブック活用の試み ○小泉 治彦（千葉県立我孫子高等学校）
外部・関係者発表	A 10	14:10 － 14:30	小学校における技術士による発展的な科学技術の授業 ○三好　正夫　（社団法人　千葉県技術士会）
	A 11	14:30 － 14:50	教員のミュージアムリテラシーについて—科学博物館における学校利用促進方策— ○高安 礼士（財団法人　全国科学博物館振興財団）

		座長：片平 克弘（筑波大学）
B 08	13:30 － 13:50	市民参加型テクノロジー・アセスメントの手法を導入した科学教育プログラムの開発— 人工甘味料に焦点を当てた簡易型「市民陪審」の試み— ○福井 智紀・石崎 直人・後藤 純雄（麻布大学　生命・環境科学部）
B 09	13:50 － 14:10	高大生のインターネット相談から見る化学の分り難さ ○加茂川 恵司（文部科学省　初等中等教育局）
B 10	14:10 － 14:30	昭和20年代生活理科に関する研究：『私たちの科学』の起源の解釈を巡って ○青木 隆政（千葉大学大学院教育学研究科）
B 11	14:30 － 14:50	理科教育における言語活動の充実のために：言葉への繊細さ ○鶴岡 義彦（千葉大学教育学部）
	14:50 － 15:00	休憩

CST発表	A 5303教室	15:00 － 16:45	課題研究：「千葉県における地域と連携した科学教育実践」 座長：畑中 敏伸（東邦大学）
			東邦大学の科学教員教育での連携 ○栗山　武夫（東邦大学）
			サテライト研究員制度と小学校理科観察・実験実習講座について ○鈴木　康治（千葉県総合教育センター　カリキュラム開発部　指導主事）
			千葉県における理科教育充実のための取組とCST（コア・サイエンス・ティーチャー）への期待 ○髙野　義幸（千葉県教育庁教育振興部指導課）
			習志野市における科学教育での連携 ○長安先生・岡野先生（習志野市教育委員会学校教育部指導課　指導主事）
			八千代市におけるCST養成プロジェクトの実践を通して ○遠藤　昭司（八千代市教育委員会指導課　指導主事）
			科学館における教育普及事業の今後の在り方 ○石井　久隆（千葉県立現代産業科学館　普及課　上席研究員）

評価会		17:00 － 18:00	CST養成プロジェクト　外部・関係者評価委員会　（5503教室）

東邦大学までのアクセス



東邦大学理学部Ｖ号館

発表会：3階5303教室
評価会：5回5503教室